

トピックス編

1 表 彰

(1) 本部表彰

【永年勤続表彰】

- ・ 40年表彰 ①神嶋 敏子 ②江良 英人 ③鈴木 みどり
④松下 大介 ⑤宇津木 正代
- ・ 30年表彰 ①益子 明子 ②尾上 美喜恵 ③小宮 亜裕美
- ・ 20年表彰 ①高橋 康男 ②新津 健裕 ③横山 恭子
④外山 万由美 ⑤鈴木 久美子 ⑥佐藤 貴之
⑦木内 有美 ⑧山口 早紀 ⑨奥崎 凡子
⑩保坂 幸恵 ⑪阿左美 有紀 ⑫小室 敦子

(2) 院内表彰

- ・ チーム表彰 ①入退院支援センターチーム
- ・ 個人表彰 ①小室 敦子

2 ボランティア活動

(1) 病院承認ボランティア

ボランティア名	開始年	活動内容	活動日・活動場所
病院ボランティアの会	2017 年	患者・家族の案内、園芸、裁縫、等	月～金曜日：外来、病棟等
ホスピタル・クラウン	2012 年	クラウンの病棟訪問	毎月第2、第4木曜日
EE-Heart	2000 年	難聴ベビー外来での保育	第4火曜午前：3回発達診断室
セラピードッグ	2013 年	セラピー犬による病棟訪問	年6回（隔月）：病棟

※カリヨン文庫は活動休止中。

(2) 外部団体によるイベント

ボランティア名	活動日	活動内容
YouTube 動画 「ちゃっちゃチャンネル」制作	令和 5 年度に 6 回配信	病棟のお子さん向けに、病院オリジナルの YouTube 動画をスタッフやボランティア協力のもと、製作した
マクドナルドハウス ハートフルカート	月 2 回 第 2・第 4 水曜日	さいたまハウスに届いた寄贈品をカートに積んで病棟を訪問。お子さんに 1 つ選んでもらいプレゼント
「ちゃっちゃチャンネル」 音楽ワークショップ	令和 5 年 5 月 18 日(木) 令和 6 年 1 月 18 日(木)	ちゃっちゃチャンネルのはっしー(キーボード)と、リモート出演のあらびー・いたさんによるコンサート
沖縄美ら海水族館 遠隔授業	令和 5 年 7 月 24 日(月) 令和 5 年 9 月 25 日(月)	美ら海水族館と病室をリモートでつなぎ、リアルタイムで魚やサメなどを観て学ぶオンライン授業
浦和レッズ・西川選手 病棟訪問	令和 5 年 8 月 9 日(水)	浦和レッズとハートフルカートのコラボレーションで、西川選手が病棟でプレゼントと写真撮影を行った
みんなでバザー2023	令和 5 年 10 月 31 日(火)	みんなで病院を育てる会主催で、病院にクリスマスプレゼントをするためのバザーを外来で行った
絵本カーニバル	令和 5 年 11 月 6 日(月)～16 日(木)	外来プレイルームに絵本を展示し自由に閲覧してもらった
絵本カーニバル ミニ絵本作りワークショップ	令和 5 年 12 月 4 日(月)	オンラインでミニ絵本作りを行った
青い目のサンタクロース 病院訪問	令和 5 年 12 月 12 日(火)	「難病のこども支援全国ネットワーク」によるクリスマスイベント。
フライトシミュレーター ゲーム体験	令和 6 年 1 月 29 日(月)～31 日(水)	カンファレンスルームに大型モニターとゲーム機材を設置して、病棟のお子さんたちがフライトゲームを楽しんだ
人形劇団のはな公演	令和 6 年 2 月 13 日(火)	外来ラウンジで人形劇公演を行った

※いずれも新型コロナウイルス感染予防対策を十分に講じたうえで開催。

3 院内保育

(1) 一時保育室

一時保育室（前「兄弟保育室」旧病院では「こども広場」）は、令和5年度で23年目を迎え、ホームページ、病院案内、利用者からの紹介などで、入院患児の御家族への認知度が高まっている。

利用対象者は、当センターに入院又は通院している患児者の兄弟姉妹であり、原則として自立歩行が可能な未就学児である。

対象外保育として、自立歩行ができないお子さんや小学生も安全な保育が確保できる場合など受け入れ可能な範囲でできるだけ前向きに保育を行っている。

平成30年10月より、外来患者の兄弟姉妹を対象とした保育も行っている。

令和3年度から、運営方法を病院直営から民間業者への委託に変更し、安定的に受け入れできるようになったこと及び新型コロナウイルスの感染状況の拡大に伴う院内への立入制限により外来関連の受け入れが拡大したことにより保育実績が大幅に増加した。

毎日の保育では、日々違うお子さんやキャンセルが入ることもあり、当日にならないと利用者、人数が確定せず、一貫した保育は難しい状況にある。

節分やおひなさま、七夕やクリスマスなど季節の行事には、部屋の飾りつけやお子さんが行う製作をして楽しんでいる。

利用者の推移

年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人 数	690人	507人	1,399人	1,706人	1,723人

令和5年度利用者の月齢構成

年 齢	人 数	構 成 率
0 歳	14人	0.8%
1 歳	127	7.4
2 歳	321	18.6
3 歳	157	9.1
4 歳	119	6.9
5 歳	42	2.6
6 歳	21	1.2
就学児（対象外）	15	0.9
外 来	907	52.6
計	1,723	100

(2) かりよん保育園

当センターの医師や看護師等の定着と確保を図るため、旧病院長公舎を改築し、病院職員の乳幼児を預かる院内保育施設を、平成21年4月1日に開設した。また、移転に伴い、平成29年1月には、新病院内に隣接するさいたま赤十字病院と共用する保育施設をオープンした。保育対象の子供は産後休暇・育児休業取得後の0歳児から小学校就学前まで、保育時間は午前8時から午後6時（前後に各1時間の延長あり）まで、定員は50名（各病院25名）、保育園の運営は民間業者に委託で行った。

令和4年度は、1年間で医師11名、看護師11名、コメディカル1名の計24名が、令和5年度は、1年間で医師13名、看護師11名、コメディカル0名の計24名が利用した。

また、夜間保育については昨年度に引き続き週3回（月、水、金）行っている。

埼玉県立 小児医療センター 歌

さんばく たけし 作詞
巖 のぼる 作曲
川越 徳子 編曲

埼玉県立 小児医療センター 歌

さんばくたけし

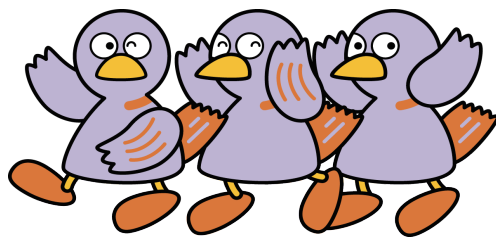
若草萌える 武蔵野に
病める幼き 子どもらへ
愛の医療を 捧げんと
集り参じて 灯をともし
われら 小児センター ここにあり
小児医療センター ここにあり

真白の富士を 仰ぎ見る
幼き生命を 救わんと
燃える希望と 情熱で
明日の医療を いま築かん
われら 小児センター ここにあり
小児医療センター ここにあり

(平成2年4月 職員有志により作詞、作曲された)

彩の国

さいたま



埼玉県のマスコット **コバトン**